看護学科

系列	開講科目 英語表記	必修選択	授業形態	時間数	単位数	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	講義概要
基礎分野	論理学 Logic	必修	講義	16	(1)	16						論理的な思考力、論文読解力、論理的な文章表現力を身につける。
	情報科学 Information Science	〃	〃	16	(1)				16			OA機器の基本操作と、情報社会に対応できる情報の収集と整理、活用方法(統計学含む)を身につける。
	自然科学の基礎 Introduction to Clinical Natural Science	〃	〃	30	(1)	30						生物の多様性、必要な化学と、臨床現場で現れる物理現象を理解するための基礎知識を身に付ける。
	倫理学 Ethics	〃	〃	16	(1)	16						生命に関する倫理的問題等について考え、看護者としての責務について理解し、人間愛に根ざした倫理的判断力を身につける。
	教育学 Pedagogy	〃	〃	16	(1)		16					現代における教育的問題について理解するとともに、教育の意義および学習支援の方法を習得する。
	心理学 Psychology	〃	〃	16	(1)	16						人間のこころと行動の動きを多面的にとらえ、自己理解や他者理解を深める。
	家族論 Family Dynamics	〃	〃	16	(1)		16					現代社会の家族の特徴、家族の機能と役割を学び、家族が個人に及ぼす影響について考える。
	英語Ⅰ English Ⅰ	〃	〃	30	(1)	30						看護に関する基礎的な単語を理解し、、臨床で必要となる英会話(文法・リスニング)の基礎的能力を身につける。
	英語Ⅱ English Ⅱ	〃	〃	30	(1)					30		臨床における診察や検査・治療時および案内や指導に必要な英語コミュニケーション能力を身につける。
	人間関係論 Human Relations	〃	〃	16	(1)		16					人間関係構築に必要な知識を身につけ、さまざまな人間関係や人間の行動や態度についての理解を深める。
	保健体育 Physical Education	〃	講義 演習	16	(1)	16						活動の必要性と気分転換の方法を身に付ける。また身体機能の向上を図り、健康の諸問題について運動・活動を通して考える。
	カウンセリング理論と技法 Counseling Theory and Skill	〃	講義 演習	16	(1)				16			自己理解・他者理解を深め、カウンセリングの基本と技法を習得する。
	キャリア形成論 Career Development	〃	講義 演習	16	(1)		16					看護職としての学び方、生き方、働き方についての考え方を深め、自己のキャリアデザインを描く。
	情報倫理 information ethics	〃	講義 演習	16	(1)	16						ITに関する基本的要素を理解し、情報社会において、正しい情報を選択する方法、倫理的判断・配慮について学ぶ。
専門基礎分野	解剖生理学Ⅰ Structure and Function of Human Body Ⅰ	〃	〃	16	(1)	16						人体の構造と機能の概要、細胞と組織、体液、生殖機能についての知識を習得する。
	解剖生理学Ⅱ Structure and Function of Human Body Ⅱ	〃	〃	30	(1)	30						呼吸・循環器系の機能と構造についての知識を習得する。

系列	開講科目 英語表記	必修 選択	授業 形態	時間数	単位数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	解剖生理学Ⅲ Structure and Function of Human BodyⅢ	必修	講義	30	(1)	30						感覚・神経機能と構造、及び運動のための機能と構造についての知識を習得する。
	解剖生理学Ⅳ Structure and Function of Human BodyⅣ	〃	〃	16	(1)	16						栄養の消化と吸収のための機能と構造の知識を習得する。
	解剖生理学Ⅴ Structure and Function of Human BodyⅤ	〃	〃	16	(1)		16					腎・泌尿器系の構造と機能、体液調整のしくみについての知識を習得する。
	解剖生理学Ⅵ Structure and Function of Human BodyⅥ	〃	〃	16	(1)		16					内分泌・外分泌、代謝のしくみと関係器官の機能と構造についての知識を習得する。
	解剖生理学Ⅶ Structure and Function of Human BodyⅦ	〃	〃	16	(1)		16					血液・造血器系の機能と構造、免疫のしくみについての知識を習得する。
	栄養と代謝 Nutrition and Metabolism	〃	〃	30	(1)	30						栄養成分の体内での物質代謝、健康の維持や健康改善の為の食生活についての知識を習得する。
	病態治療学Ⅰ Pathology and TherapeuticsⅠ	〃	〃	16	(1)	16						機能障害の成り立ち、および治療・検査等についての知識を習得する。
	病態治療学Ⅱ Pathology and TherapeuticsⅡ	〃	〃	30	(1)	30						呼吸・循環機能障害の病態・症状・治療・検査等についての知識を習得する。
	病態治療学Ⅲ Pathology and TherapeuticsⅢ	〃	〃	30	(1)		30					神経・運動機能障害の病態・症状・治療・検査等についての知識を習得する。
	病態治療学Ⅳ Pathology and TherapeuticsⅣ	〃	〃	16	(1)		16					消化・吸収機能障害の病態・症状・治療・検査等についての知識を習得する。
	病態治療学Ⅴ Pathology and TherapeuticsⅤ	〃	〃	16	(1)		16					腎・泌尿器系機能障害の病態・症状・治療・検査等についての知識を習得する。
	病態治療学Ⅵ Pathology and TherapeuticsⅥ	〃	〃	16	(1)			16				内分泌・代謝機能障害の病態・症状・治療・検査等についての知識を習得する。
	病態治療学Ⅶ Pathology and TherapeuticsⅦ	〃	〃	16	(1)			16				血液・造血器・免疫機能障害の病態・症状・治療・検査等についての知識を習得する。
	病態治療学Ⅷ Pathology and TherapeuticsⅧ	〃	〃	16	(1)			16				精神機能障害の病態・症状・治療・検査等の知識を習得する。
	微生物学 Microbiology	〃	〃	30	(1)	30						微生物の生態と人間への影響、感染のしくみと微生物感染の予防について理解する。
	臨床薬理学 Clinical Pharmacology	〃	〃	16	(1)		16					薬物の化学的性質と吸収過程、治療としての薬理作用や人体への作用(有害事象)について理解する。

系列	開講科目 英語表記	必修選択	授業形態	時間数	単位数	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	講義概要
専門基礎分野	臨床検査治療論 Clinical Laboratory Test and Therapeutics	〃	〃	30	(1)			30				機能障害の原因や程度を査定する臨床検査や麻酔及び放射線医学の基礎と診断・治療、生体への影響を理解する。
	地域福祉論 Community Welfare	〃	〃	16	(1)						16	地域福祉の基本的理念・考え方推進の状況、関連機関について理解し、看護との関連性や連携について考える。
	保健医療論Ⅰ Health Care Ⅰ	〃	〃	16	(1)					16		医療を取り巻く現代社会や日本の保健医療の概要について学び、保健医療の中での看護の役割を理解する。
	保健医療論Ⅱ Health Care Ⅱ	〃	〃	16	(1)						16	医療現場に必要な看護経済について理解を深め、看護マネージメントや病院経営に必要な知識を習得する。
	社会福祉 Social Welfare	〃	〃	16	(1)		16					日本の保健医療福祉の概要および保健医療の中での看護の役割を学び、患者・利用者に提供できる知識を身につける。
	関係法規 Relevant Law	〃	〃	30	(1)						30	法の概念、看護職に必要な法令と自己の権利と責務についての知識を習得する。
	公衆衛生学 Pubiic Health	〃	〃	30	(1)		30					公衆衛生の理念と人間を取り巻く環境について学び、保健医療システムや看護の役割についての知識を習得する。
専門分野 基礎看護学	看護学概論 Introduction to Nursing	必修	講義演習	30	(1)	30						看護の概念･目的･機能、看護学の発展の歴史、看護の将来的展望と課題について理解する。また、ワークを通して主体的に考える力を身につける。
	基本技術論Ⅰ Basic Nursing Skill Ⅰ	〃	〃	30	(1)	30						人間関係構築の基礎となるコミュニケーション技術と、感染予防や医療安全の技術を習得する。
	基本技術論Ⅱ Basic Nursing Skill Ⅱ	〃	〃	30	(1)		30					看護場面において共通の基本技術となる観察、測定の技術と、看護問題解決の手段としての看護過程展開技術を習得する。
	生活援助論Ⅰ Basic Procedures in Nursing Skills Ⅰ	〃	〃	30	(1)	30						人間にとっての環境・活動と休息の意義と、健康の保持・増進、回復にむけた活動と休息の援助技術を身につける。
	生活援助論Ⅱ Basic Procedures in Nursing Skills Ⅱ	〃	〃	30	(1)	30						清潔や皮膚粘膜の保全のための援助や整容・更衣の援助および苦痛緩和の援助技術を身につける。
	生活援助論Ⅲ Basic Procedures in Nursing Skills Ⅲ	〃	〃	30	(1)		30					健康の保持・増進、健康回復のための栄養・代謝への援助および排泄の援助技術を身につける。
	臨床援助論Ⅰ Clinical Nursing Skill Ⅰ	〃	〃	30	(1)			30				診察・検査、治療処置時における看護の役割を理解し、援助技術を習得する。
	臨床援助論Ⅱ Clinical Nursing Skill Ⅱ	〃	〃	30	(1)				30			薬物療法の目的・方法、安全な与薬方法、救急救命処置の方法、事故防止についての知識・技術を習得する
	基礎看護演習 Patient-Oriented Intervention	〃	〃	30	(1)	30						患者を尊重しながら、患者にとって快適な環境、生活援助技術を提供できる知識・技術・態度を身につける。
	臨床判断演習 Clinical judgment exercise	〃	〃	16	(1)		16					シミュレーションを通して、気づく視点やアセスメント、リフレクションにより、患者にとって今何をすべきか判断する力を身につける。

系列		開講科目 英語表記	必修選択	授業形態	時間数	単位数	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	講義概要
専門分野	基礎看護学	看護研究Ⅰ Nursing Study Ⅰ	〃	〃	16	(1)				16			看護における研究の目的および研究の基礎を学び、批判的思考や研究的態度を身につける。
	地域・在宅看護論	在宅看護概論Ⅰ Introduction to Home Care Nursing Ⅰ	〃	講義	16	(1)		16					在宅看護の基本理念や地域包括ケアシステムの必要性義、家族支援への理解を深める。
		在宅看護概論Ⅱ Introduction to Home Care NursingⅡ	〃	講義 演習	16	(1)					16		フィールドワークを通して、地域の課題発見に取り組み、看護職が地域で果たす役割について考える。
		在宅援助論Ⅰ Home Care Nursing Ⅰ	〃	講義	16	(1)		16					地域でくらす人々の社会資源とエンドオブライフケアについて学び、看護が果たす役割について考える。
		在宅援助論Ⅱ Home Care NursingⅡ	〃	〃	16	(1)			16				在宅療養者やその家族の生活をアセスメントし、社会資源の活用について考える。在宅療養者の看護過程の基礎を学ぶ。
		在宅援助論Ⅲ Home Care NursingⅢ	〃	講義 演習	16	(1)				16			演習を通して、在宅療養者と家族にとって安全・安楽や経済性・継続性を考慮した医療的ケアや看護技術を身につける。
		他職種連携 Collaboration of other occupations	〃	講義 演習	30	(1)			30				医療・福祉系の職種の役割について学ぶ。また医療・福祉系学科の学生とのグループワークを通じて、チームにおける看護職の役割についての理解を深める。
	成人看護学	成人看護学概論 Introduction to Adult Nursing Ⅰ	〃	講義	30	(1)		30					ライフサイクルにおける成人期の位置づけを理解し、成人を取り巻く生活環境・社会生活・医療環境をふまえ、成人看護の役割を学ぶ。
		成人援助論Ⅰ Adult Nursing Care Ⅰ	〃	〃	30	(1)			30				呼吸機能および循環機能に障害のある対象の特性と、対象に必要な援助について理解する。
		成人援助論Ⅱ Adult Nursing CareⅡ	〃	〃	30	(1)			30				循環機能・脳神経機能に障害のある対象の特性と、対象に必要な援助について理解する。
		成人援助論Ⅲ Adult Nursing CareⅢ	〃	〃	30	(1)			30				消化機能、排泄機能に障害がある対象の特性を理解し、対象に必要な援助を理解する。
		成人援助論Ⅳ Adult Nursing CareⅣ	〃	〃	30	(1)				30			内分泌・代謝機能、血液・免疫機能に障害のある対象の特性を理解し、必要な援助をについて理解する。
		成人援助論Ⅴ Adult Nursing CareⅤ	〃	〃	30	(1)				30			看護過程の展開を通して、手術療法を受ける対象の看護を学ぶ。
		成人援助論Ⅵ Adult Nursing CareⅥ	〃	〃	30	(1)				30			終末期にある対象と家族を理解し、対象と家族の意思を尊重し、その人らしく過ごすための支援について考える。
	老年看護学	老年看護学概論 Introduction to Gerontological Nursing	〃	〃	30	(1)		30					加齢に伴う機能の変化について学び、老年期にある対象とその家族を理解し、看護と看護師の役割を理解する。
		老年援助論Ⅰ Elderly Nursing Care Ⅰ	〃	講義 演習	16	(1)			16				認知症の対象の理解及び看護について理解する。認知症サポーター養成講習を通して、看護の役割について考える。
		老年援助論Ⅱ Elderly Nursing CareⅡ	〃	〃	30	(1)			30				老年期の運動機能に障害を持つ対象の看護について、看護過程の展開方法を学ぶ。

系列		開講科目 英語表記	必修選択	授業形態	時間数	単位数	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	講義概要
専門分野	老年看護学	老年援助論Ⅲ Elderly Nursing Care Ⅲ	〃	〃	30	(1)				30			老年期に起きやすい栄養・代謝及び排泄障害について理解し、それらの看護について学ぶ。
	小児看護学	小児看護学概論 Introduction to Pediatric Nursing	〃	講義	16	(1)		16					小児期にある対象と家族の特徴や、小児期に多い健康問題、看護師の役割について理解する。
		小児援助論Ⅰ Pediatric Nursing Care Ⅰ	〃	講義 演習	16	(1)			16				小児看護における、治療・検査・処置時の看護について学ぶ。
		小児援助論Ⅱ Pediatric Nursing Care Ⅱ	〃	〃	30	(1)			30				様々な健康レベルにある小児期の対象の外来から入院・退院までの看護について学ぶ。重症心身障がい時と家族に対する看護の役割について考える。
		小児援助論Ⅲ Pediatric Nursing Care Ⅲ	〃	講義	30	(1)				30			小児期の発達に応じた看護、小児期に特有な健康障害とその看護について学ぶ。
	母性看護学	母性看護学概論 Introduction to Maternity Nursing	〃	〃	30	(1)		30					母性看護の対象、母性の健康保持増進と保健について学習し、母性看護の理念と看護師の役割を理解する。
		母性援助論Ⅰ Maternity Nursing Care Ⅰ	〃	〃	30	(1)			30				妊娠・分娩・産褥の正常な生理、異常と治療についての知識を習得する。
		母性援助論Ⅱ Maternity Nursing Care Ⅱ	〃	〃	30	(1)			30				正常な産褥期の母児、およびハイリスクな母児と家族への看護を学ぶ。
		母性援助論Ⅲ Maternity Nursing Care Ⅲ	〃	〃	16	(1)				16			女性生殖機能障害を抱える対象の疾患やその看護について学ぶ。
	精神看護学	精神看護学概論 Introduction to Psychiatric Nursing	〃	講義	30	(1)			30				精神看護の概念と精神看護の変遷を学び、精神看護の機能と役割、精神保健について理解する。
		精神援助論Ⅰ Psychiatric Nursing Care Ⅰ	必修	講義 演習	16	(1)				16			精神看護に関する概念と、基本的な理論を理解し、看護技術としてのコミュニケーション技術を身につける。
		精神援助論Ⅱ Psychiatric Nursing Care Ⅱ	〃	講義	30	(1)				30			精神に障害を持つ患者の主要な状態像と、それに対する検査・看護の知識を習得する。
		精神援助論Ⅲ Psychiatric Nursing Care Ⅲ	〃	〃	16	(1)				16			主要な精神疾患の病態・治療・看護について学習し、セルフケア理論に基づき、紙面上で看護過程の展開ができる。
	看護の統合と実践	医療安全 Nursing Risk Management	〃	〃	16	(1)						16	実際に起こった看護場面などから、事故発生要因や危険を理論的に考え、事故防止策を理解する。
		看護管理 Nursing Team Approach	必修	〃	16	(1)					16		医療チームに関わる人々と協働して、チームアプローチの重要性と看護マネジメントの関連を理解する。
		災害看護 Disaster Nursing	〃	〃	16	(1)						16	災害という緊急状況にある対象に応じた看護のあり方を理解する。

系列	開講科目 英語表記		必修選択	授業形態	時間数	単位数	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	講義概要
専門分野	看護の統合と実践	国際看護概論 Introduction to Global Nursing	〃	〃	16	(1)						16	多様な文化や価値観を持つ人々、世界の健康問題について理解し、多様な人々を対象とし、様々な場での看護の役割について考える。
		国際看護Ⅰ(Ⅱ) Global Nursing Ⅰ(Ⅱ)	〃	研修講義	16	(1)				16			海外研修を通して、世界の健康問題と看護活動の現状と課題についての理解を深める。
		看護研究Ⅱ Nursing Study Ⅱ	〃	講義演習	30	(1)					30		グループで、これまでに修得した基礎的・臨床的知識をもとに科学的根拠に基づいた研究テーマを設定し、テーマに沿って現象の実態を明らかにする研究論文としてまとめ、発表する。
		統合演習 Drill of Comprehensive Nursing	〃	〃	30	(1)						30	多重課題に対応するために必要なアセスメント能力と実践方法を身に付ける。および、看護実践に必要な知識・技術を習得する。
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ Basic Nursing Ⅰ	〃	実習	40	(1)	40						様々な発達段階、健康段階にある対象とのコミュニケーションを通して、看護の対象である人々の暮らしを理解する。
		基礎看護学実習Ⅱ Basic Nursing Ⅱ	〃	〃	80	(2)		80					病院の概要、対象の療養環境を知り、コミュニケーションを通して対象の思いを知る。また安全・安楽な援助を実践するための基礎的知識・技術・態度を学ぶ。
		在宅看護論実習 Home Care	〃	〃	80	(2)						80	地域で生活する人とその家族を理解し、在宅における看護が実践できる基礎的能力を習得する。
		成人看護学実習Ⅰ Nursing Care for Adult Ⅰ	〃	〃	80	(2)				80			慢性疾患や障害を抱える成人期の対象がセルフケアマネジメント能力を獲得するための支援をするための基礎的能力を習得する。
		成人看護学実習Ⅱ Nursing Care for Adult Ⅱ	〃	〃	80	(2)					80		疾患からの回復が困難な成人期の対象とその家族に対して、QOLの維持・向上を目指した看護を実践するための基礎的能力を習得する。
		成人看護学実習Ⅲ Nursing Care for AdultⅢ	〃	〃	80	(2)					80		急激な健康破綻や生命の危機状態にある対象への看護を実践する基礎的能力を習得する。
		老年看護学実習Ⅰ-A Nursing Care for Elderly Ⅰ-A	〃	〃	40	(1)			40				健康障害を抱える老年期の対象の日常生活自立度に応じた看護を実践するための基礎的能力を習得する。
		老年看護学実習Ⅰ-B Nursing Care for Elderly Ⅰ-B	〃	〃	80	(2)				80			老年期にある対象とのかかわりを通して、健康障害や生活状況を理解し、看護を実践するための基礎的能力を習得する。
		老年看護学実習Ⅱ Nursing Care for Elderly Ⅱ	〃	〃	80	(2)				80			健康障害と加齢により日常生活に影響を及ぼしている対象がその人らしく生きていくための看護実践の基礎的能力を習得する。
		小児看護学実習 Nursing Care for Children	〃	〃	80	(2)					80		小児期にある対象を統合的に理解し、対象に応じた看護を実践できる基礎的能力を習得する。
		母性看護学実習 Maternity Care	〃	〃	80	(2)						80	妊娠・分娩・産褥期にある対象を統合的に理解し、対象に応じた看護を実践できる基礎的能力を習得する。また、女性の生涯にわたる健康へのかかわりの必要性を理解する。
		精神看護学実習 Psychiatric Nursing	〃	〃	80	(2)					80		精神障害をもった対象のセルフケア能力を支援する看護を実践するための基礎的能力を習得する。
		統合実習 Practice of Comprehensive Nursing	〃	〃	80	(2)						80	既習のを知識・技術を統合し、患者の状態に応じて安全に看護を実践する能力や、状況を考慮して看護判断ができる基礎的能力を習得する。
総時間数					2910	(110)	558	500	466	578	428	380	